

# 作新学院高等学校同窓会報

発行 作新学院同窓会 〒321-0027 宇都宮市埴田1-3-27 船田教育会館内 TEL 028-621-9083 FAX 621-3941



おとなの作新祭（学院が生んだスポーツ界のヒーローを招いてのトークショー）平成22年11月6日 聴蛙館にて



## 同窓会の皆さんへ

卒業生のホームカミングデー  
「おとなの作新祭」へ

会長 大淵 皓之  
(高10回卒)

同窓会の皆さんお元気ですか。皆様には日頃より何かとお力添えをいただき、また同窓会の運営につきまはいろいろとご協力いただきまして、誠にありがとうございます。

今年は同窓会名簿を発行いたします。本来ならば同窓会名簿の改訂発行は、創立120周年の時に行う予定でしたが、平成17年4月に個人情報保護法が完全施行されて、名簿発行の賛否が問題となり、発行が中止となりました。その後同窓会名簿については発行が可能で問題ないとのことで、昨年125周年の事業として、同窓会名簿を発行することとなり名簿の編集に入りました。今回の改訂発行については従来の方を変えて、名簿作成の専門業者に委託することとし、今年の12月に改訂同窓会名簿の発行を予定しています。

また、昨年11月6日に第1回「おとなの作新祭」

を学校と共同企画で実施いたしました。日頃同窓生が卒業後は学校を訪問する機会がありませんので、同級生や当時の担任の先生と楽しく一日語らいの時間を過ごしていただこうと「おとなの作新祭—卒業生のホームカミングデー」を企画し、第1部は野球、自転車、体操等OB・OGのトークショーや卒業生の活躍パネル展示、同窓生のお店の模擬店等でにぎやかなイベントとなりました。第2部では卒業後10年の十年会、20年後の二十年会を中心に一般の同窓生を交えての親睦会が円形体育館で行われました。今回を機に毎年おとなの作新祭を催していく予定です。

同窓会は今年も引き続き「組織の強化」を目標とし、同窓会の皆さんにも更なるご協力をいただき、目標達成を図っていきたいと思います。皆様の益々のご活躍とご健勝をお祈り申し上げます。





## ごあいさつ

### 建学の精神である「作新民」の名のもとで!

作新学院 院長 船田 元

平成23年の新春を迎えましたが、同窓会の皆様には如何お過ごしですか。旧年中は大変お世話になり有難うございました。

昨年は大学法人と高校等の法人に再編成され、新たなスタートを切り、よりきめ細かい学校運営を目指すことが可能となりました。また昨年は、創立125周年という節目を迎え、様々なイベントを実施して参りました。

全体のテーマはエコ、環境問題を取り上げました。環境負荷の低減と途上国の子どもたちにワクチンを送るため、全校生徒がペットボトルキャップの回収運動に取り組みました。目標の125万個をはるかに超え、200万個に達しようとしています。

道路拡幅に伴う工事用フェンスに、エコをテーマとする長大壁画を作製すべく、多くの生徒たちが協力しました。これらの活動を通じて、子どもたちは力を合わせることの大切さ、一人ひとりが環境に直結している事実を、しっかり認識しました。

また同窓会の皆様にも多大のご協力をいただき、11月には「おとなの作新祭（ホームカミングデー）」を開催し、多くの同窓生に

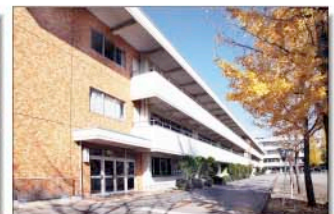
母校に集まっていただきました。初めての試みであり、まだまだ声のかからなかった同窓生もおられたようです。今年はずっと多くの同窓生に集まっていただき、より賑やかに開催したいと思います。

なお同窓会の皆様には、現在お願いしていることがあります。同窓会名簿のリニューアルです。現在の名簿は15年も前に作成したもので、約4割が正しくなくなってきました。外部の専門業者にも協力を仰いでいますが、同窓生の絆を一層強くするためにも、調査票が届きました折には、どうかご協力をお願いします。

昨今は世界の中の日本、アジアの中の日本の地位が、どんどん下がっていることを実感します。この時こそ私たちの建学の精神である「作新民」、世の中に役立つ新しい人材を作る。という役割を、しっかりと果たさなければなりません。

私たち教職員も在校生も努力してまいりますので、同窓生の皆様も、「作新民」の名のもとで、大いにご活躍いただきたいと思います。

## 学院近景







## 目の前の生徒のために

高等学校 校長 長谷川 勝比古

明けましておめでとうございます。同窓会の皆様には、日頃から温かいご理解とご協力を賜り、心から御礼申し上げます。昨年11月6日(土)に開催されました「卒業生のHome Coming Day ～おとなの作新祭～」の記念すべき第1回目は、お蔭様で大盛況でした。ご参加およびご協力いただいた皆様には、心からの感謝を申し上げます。

さて、去年は、本学院も創立125周年を迎え、「エコ」をテーマに「作新力」を発揮した様々なイベントを展開してまいりました。CO<sub>2</sub>削減と途上国の子供たちにポリオワクチンを贈るためのペットボトルキャップ回収運動、足尾の山の緑化を願う植林ボランティア、学院外周フェンスへのエコ壁画制作、来日した北京第四中との日中地球環境フォーラムなどの他、文化祭では、生徒諸君が育てた植物によるグリーンカーテンや玉子パックを使った大壁画を公開し、正門付近には廃物利用で製作されたロボット「アース君」を設置しました。私たちは、生徒がこうした取り組みを契機として、地球環境への問題意識を今後も持ち続けてくれることを願っております。

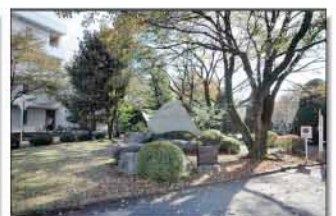
また、去年は全国で「作新旋風」を巻き起こした年でもありました。沖縄で行われたインターハイには16チーム108名が、インターハイ以外の国体や各全国大会にも数多く出場し、特に、ボクシング・水泳・自転車競技・パワーリフティング・ゲートボール・軟式野

球は見事優勝を果たしました。日々の精進による成果を十二分に発揮した選手諸君と、ご支援くださった保護者の皆様には改めて敬意を表します。一般に、部活動が活躍する年は学校全体に活気が生まれ、それにつれて進路実績も上がると言われます。その点では、ここ数年、右肩上がりの成果を出している大学入試もこれからが本番ですが、大いに期待してよいのではないのでしょうか。先の見えない氷河期が続いている就職も、生徒諸君の頑張りや就職指導委員会の先生の地道な努力が功を奏し、既に予想以上の結果が出ています。

ところで、本校では、従来のPTA本部組織に加えて、宇都宮市を中心とした地域に10の支部を立ち上げました。これは、保護者や地域と今まで以上の連携を図って、生徒の健全育成に生かしたいという考えから生まれたものです。生徒を取り巻く環境が複雑化している現在、その成果が期待されるところです。

新年を迎え、本校も創立130周年という次の節目に向けて新たなスタートを切ったわけですが、これまで培ってきた「作新民」の精神を忘れることなく、目の前の生徒のために何ができるのか、何をすべきかという視点で、一同熱意をもって取り組んでまいり所存です。つきましては、同窓会の皆様のますますのご理解とご協力を、改めてお願い申し上げて、新年のご挨拶といたします。

### 学院近景





# 創立 125周年を迎えて



創立以来125年、長い歴史をもつ作新学院の創立記念式典が、幼、小、中、高、合わせて5,000余名の在校生の参加のもと、平成22年9月28日挙行されました。卒業生の数でも、高等学校だけで10万人を超える学校、その責務は限りなく大きいものがあります。同窓生の皆様のご活躍を、心より期待するところです。

式典の中で、ペットボトルキャップ回収においてご尽力・ご提供をいただいた方々に、学院から感謝状の贈呈がありました。回収ボックスの設置など特に回収の開始にあたってご尽力された吉沢元教頭、また今日まで、キャップを提供し続けて下さいました植木政行様・南里尚様・大美賀恒夫様・渡辺幸雄様の5名の方々です。当日の厳粛さの中で、ふと心温まるひと時をいただきました。



挨拶する船田恵院長代理

## 学院近景





学院125周年事業終了する

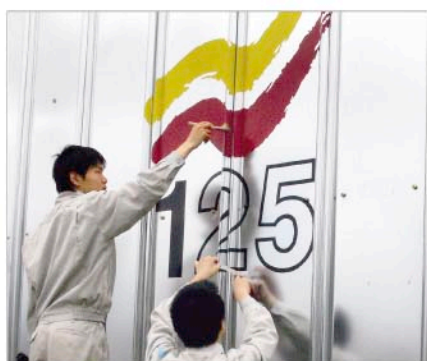
作新学院では、「エコ」、「環境教育」に重点を置き、創立125周年の記念事業として多くの事業を実施しました。



125万個ペットボトルキャップ回収

主なものとしては、発展途上国の子どもたちにポリオワクチンを届けることを目標とした『125万個ペットボトルキャップ回収』。地球環境保護について中国の名門校北京四中との『地球環境フォーラム』の開催と『日中高校生共同声明』の宣言。中等部、高等学校の生徒、保護者が多数参加しての『水と緑の少年隊フォーラム in 足尾』での植樹。清掃活動を通して、感動の心を育み、謙虚さや気づく心を持ち、感

謝できる人間になるよう『掃除ボランティア』の開催。「エコ」、「地球の自然を守る」、「生命を育む」をテーマに、一の沢キャンパスの幼稚園児から高等学校の生徒まで広くアイデアを募集し、みんなの思いが結集した『125周年記念エコ壁画』の制作。部活動の顧問と選手たちの絆の強さを物語る感動秘話『きらめきの刻～部活に見つけた、とってもいい話～』の発刊。地球を守り、未来を作るための「作新力」プロジェクトとして展開しはじめたエコ活動のひとつとして廃品ドラムを利用したロボット『アース君』製作などです。



記念エコ壁画

また、学院祭では、全体展示に玉子パックを再利用した大壁画やゴーヤを栽培してのグリーンカーテン等、これらの事業も成功裡に終了しました。



アース君

学院近景







第1回

## 『おとなの作新祭』 挙行

おとなの作新祭 実行委員長 金田 眞 麒 (高12回卒)

創立125周年を迎えた平成22年11月6日、学校と同窓会合同の「おとなの作新祭」が挙行されました。この話が持ち上がったのは同年の5月、半年の間に先生方と同窓会との会議が数回持たれ、おとなの作新祭の式典部門、催事部門、販売部門等実行委員会の開設及び委員の選出など、あっという間の半年でした。



正門入学での受付

作新祭の当日、午前11時からの開会式が聴蛙館で行われました。校門を入ったところにテントを設営し、同窓会と先生方による出店販売が行われ、聴蛙館においてOB・OGトークショー、コーディネーターは卒業生の染谷恵二氏、出演者は野球界の八木沢選手、また江川選手とバッテリーを組んだ亀岡(旧姓小倉)選手、体操界からはオリンピック出場の五十嵐選手、競輪界から幸田選手、神山選手、その他スポーツ界において今も現役の選手の方が参加されました。

**手塚・吉高神司法書士事務所**  
 司法書士 吉高 神 渡 (昭和45年卒)  
 宇都宮市小幡2-6-10 ☎028-627-0521

**藤田勝春法律事務所**  
 弁護士 藤田 勝 春 (昭和35年卒)  
 宇都宮市清住3-1-14 ☎028-625-3266





挨拶する大洲同窓会会長

大正琴演奏をはさんで、画家安藤勇寿氏作品解説など非常に中味の濃い催しが行われました。また第2部として学校の円形体育館を利用させていただき、午後4時半から食事、飲物を囲み後夜祭を実施いたしました。先生方を含めた同窓生、そして今回案内を差し上げた十年会・二十年会の皆様を中心にブラスバンド、サワピリカ、NAIL (ネイル) の皆さん、暫らくぶりでみたエッサッサと、夜6時半閉会まであっという間の一日でした。発案より半年、第1回目としてはよくここまで出来たと思っています。

おとなの作新祭は今年も開催予定です。今回の実施にあたり開催当日までご協力をいただいた皆様方に心より御礼を申し上げます。

一校一家の校風の下に、次回も更に多くの同窓生の出席をいただき、盛大なおとなの作新祭にしたいと願っています。



トークショー



各界で活躍中の同窓生をパネルで紹介



第2部の懇親会にて



懇親会で挨拶する八木沢荘六氏

**「割烹弁当」の新三**

新三  で **検索** クリック  
<http://www.shinza.co.jp/>  
 代表取締役 **鈴木 郁夫** (昭和24年卒)  
 宇都宮市今泉3-12-30 ☎028-622-8337

パンフレットを  
 お送り致します。  
 ご連絡をお待ち  
 致します。

**税理士法人 尾花会計パートナーズ**

代表社員・税理士 **尾花 一浩** (平成元年卒)  
 社員・税理士 **尾花 兼司** (平成2年卒)  
 〒322-0029 鹿沼市西茂呂3-19-2  
 ☎0120-806-087 URL <http://j-obana.tcnf.com/>



# 今年成人を迎えられる卒業生 ご成人おめでとうございます。

英進部

皆様が作新学院を卒業して、早いものでもう2年が経とうとしています。皆様が残した輝かしい実績は、確実に後輩たちへ受け継がれていますが、英進部では、更なる飛躍を期し、従来のコース制を廃し、新たに「トップ選抜クラス」「英進選抜クラス」「英進クラス」のクラス制とするなど、大きな改革が実施されました。

ところで、現代の社会は、経済不況をはじめとして、少子高齢化、地球規模の温暖化など多くの問題を抱えています。そのため、将来への不安による先行き不透明な閉塞感が漂っており、皆様が歩む道も平坦ではないでしょう。時には様々な困難にぶつかり、挫折しそうになることもあるかと思えます。しかし、皆様には「無限の可能性」があります。また、本学院で過ごした3年間で培った自信と誇りがあるはずです。その限りない「無限の可能性」を信じて、いろいろなことに挑戦し、新たな道を切り拓いて欲しいと思います。私達は、皆様が決して自分を見失うことなく、進むべき夢に向かって邁進することを願っています。

皆様のこれからのご活躍を心からお祈りし、お祝いの言葉といたします。

平成20年英進部 第3学年主任 阿見 勉



平成20年度卒業時の第3学年担任の先生方

株式会社 落合東光園 (造園・土木)

代表取締役 落合 功 (昭和37年卒)

上三川町川中子921 ☎0285-56-3751

東野観光(株) (旅のことなら)

高梨義久 (平成3年卒)

宇都宮市平出工業団地19-8 ☎028-660-2441

インテリアアール タカノ

高野博子 (昭和26年卒)

宇都宮市上戸祭3-3-2 ☎028-643-6231

株式会社

RCC 企画装飾

代表取締役会長 関 正三 (昭和24年卒)

〒321-0905 宇都宮市平出工業団地38-32  
TEL 028-662-6551(代) FAX 028-663-3579





平成20年度卒業時の第3学年担任の先生方

# 今年成人を迎えられる卒業生 ご成人おめでとうございます。

総合進学部

皆さんが、卒業されてからはや2年がたち、あっという間ですね。

この間、進学された方は大学や短大、あるいは専門学校で専門課程を学び、就職された方々は、仕事にも慣れ各職場で一生懸命に働いていることと思います。

それぞれ置かれた立場や環境はことなりますが、解決すべき課題は沢山あると思います。皆さんはこれらのひとつ一つを自分の判断と努力で克服していかなくてはなりません。

現在、日本を取りまく世界は急激に変化しております。この現実の世界に飛び込み、思い悩んで立ち止まる場合があるかも知れません。しかし、みなさんには「若さ」があります。健康に十分気をつけ、「夢」に向かって決して諦めず、一歩いっぽ、前に進んでください。

平成20年総合進学部 第3学年主任 平 正人  
第3学年主任 森田 茂

**(有)坂本商店**(業務用青果・漬物製造卸)  
代表取締役 坂本 昭(昭和31年卒)  
宇都宮市京町3-4 ☎028-633-4003  
FAX 028-632-9148

**(株)大貫商店**(紙一式)  
早乙女ヒロ子(昭和21年卒)  
宇都宮市二荒町9-3 ☎028-634-4131

**元 氣 の 里**  
(特別養護老人・ホームケアハウス)  
施設長 角田充由(平成5年卒)  
宇都宮市幕田町1456-1 ☎028-655-2611

**伴印刷株式会社**  
<http://www.bannet.com/>  
代表取締役 伴 清(昭和35年卒)  
常務取締役 伴 誠(昭和62年卒)  
生産管理部長 伴 康行(平成7年卒)  
宇都宮市栄町6-10 ☎028-622-8901



# 今年成人を迎えられる卒業生 ご成人おめでとうございます。

情報科学部

皆さんが学院を巣立ってから2年の月日が経とうとしています。

情報科学部にとりまして2学科（普通科総合選択コース・自動車整備士養成科）で初の卒業生を送り出した記念すべき年度でありました。進学・就職をされた方々それぞれが、在学中に培った作新スピリッツを遺憾なく発揮されていることと思います。

しかしながら、程無く世界同時不況の波が起こり、厳しい現況となっております。

このような中、皆さんは建学の精神である「作新民」（日々変化してゆく世の中を新たに切り拓いてゆく人材）を具現化されていくことを確信しております。

今後のご活躍とご健勝を祈念申し上げ、お祝いの言葉と致します。

平成20年情報科学部 第3学年主任 田村 利夫



平成20年度卒業時の第3学年担任の先生方

## 作新学院 親交会

会長 荒井 祥

宇都宮市一の沢1-1-41 ☎028-648-1811

## 荒川歯科クリニック

理事長 荒川 敏明(昭和48年卒)

宇都宮市西川田本町4-1-3 ☎028-645-5072

(総合建設業)

## 株式会社 新生工業

代表取締役 櫻井 英治(昭和57年卒)

宇都宮市徳次郎町46 ☎028-665-1502

花と園芸

## (株)藤野グリーンセンター

代表取締役 藤野 善勝(昭和35年卒)

宇都宮市さつき2-3-5 ☎028-653-8660



平成22年度

## 同窓会定時総会



作新学院高等学校同窓会の定時総会は、平成22年6月4日午後6時より、宇都宮市の「アピア」において、船田元院長、長谷川勝比古校長など多数の来賓をお迎えし、同窓会会員100名が参加して開催されました。

当日の総会は、金田眞麒副会長(昭35卒)の開会の挨拶で幕を開け、学院歌を出席者全員で斉唱後、同窓生の物故者に対し黙祷を捧げました。そして、大淵皓之会長(昭33卒)が「今年は創立125周年です。学校と同窓会が一体となって創立125周年の節目の年を迎えましょう」と挨拶。続いてご多用の折にもかかわらずご出席頂きました船田元院長が「創立125周年に際し、ホームカミングデーおとなの作新祭を開催します。同窓会の皆様の絶大なる協力が必要になると思いますのでよろしくお願いいたします。」などご挨拶いただきました。

この後、遠藤盛さん(昭58卒)と櫻井英治さん(昭57卒)を議長団に選出し議事に入り、事務局及び総務企画部、組織財政部、広報部、文化厚生部会から提出された21年度の決算・会計報告、平成22年度の予

算・事業計画などについて審議し、満場一致で承認されました。また、役員改選についても承認されました。

総会終了後の懇親会では、三村松司(昭35卒)副会長の乾杯の音頭の後、用意された飲み物や料理を頂きながら、久しぶりに出会った先生や旧友達との和やかな歓談に入りました。また、今年は、バスケットボール、日本リーグで見事日本一に輝いたリンク栃木ブレックスの大宮宏正(平14卒)選手が優勝報告を兼ね懇親会の席に駆けつけ参加者全員で祝福することができました。もちろん、毎年恒例となっているハワイアンバンドの演奏もあり大変盛り上がった懇親会になりました。最後に、坂本昭前副会長(昭31卒)の中締めで楽しかった懇親会が終了致しました。

(渡辺幸雄広報部会長 記)





# 昨年度卒業生の進路状況

～ 東北大学・お茶の水女子大学・東京藝術大学などの難関国立大学  
慶應義塾大学・早稲田大学・医学部などに多数合格 ～

平成21年度、卒業生は1,272人であった。進路の内訳は、4年制大学に559人、短期大学に83人、専門学校(予備校を含む)に351人が進学し、就職・その他は279人であった。進路の割合は、大学や専門学校への進学は78.1%、就職・その他は21.9%であった。

新型インフルエンザ、景気の低迷などの影響が心配された平成22年度の大学入試。学費の安い国公立大学の人気が高まり、一般入試の志願者数は、6年連続の減少に歯止めがかかり、大幅に増加した(前年比+3.0%)。また、資格の取れる「教育」「看護」で志願者の大幅な増加が目立った。私立大学でも、不況を背景に、地元志向・安全志向が継続しており、浪人は避けたいという思いから慎重な出願をしている様子もうかがえた。受験料が安く、多くの場合は試験場に足を運ぶ必要がないため、受験費用を抑えられるセンター利用方式の積極的な活用が見られた。このような厳しい入試状況のなか、国公立大学では、東北大学・お茶の水女子大学・東京藝術大学など合わせて68名の合格(昨年度54名)を果たした。私立大学では、最難関の慶應義塾大学2名、早稲田大学6名の他、東京理科大学・明治大学・青山学院大学・中央大学・法政大学など「MARCH」レベル50名、東京医科大学・獨協医科大学など医学部に12名の合格を出した。学年・クラス担任と教科との綿密な連携ときめ細かな進路指導や、「受験は団体戦」を合言葉に生徒が励まし合いながら最後まで頑張った結果である。

このような進学実績が多く大学の評価され、平成22年度には205大学から1,200人を超える指定校を受けている。

また、専門学校の進学については、県内専門学校への進学者が県外専門学校への進学者のおよそ2倍、つまり「県内志向型」が

顕著となっている。分野別に見ると理容・美容・ペット・調理・栄養・健康スポーツ系など、前年までの傾向とはやや異なった。つまり技術を身に付けるという分野に集中したような感がある。一方、幼児・保育・看護・介護などの教育や人命にかかわる職業などへの分野の人気の、前年同様乏しかった。

就職状況に触れてみたい。2007年の米国サブプライムローン問題や急激な円高、さらには2008年9月中旬のリーマンショックによる世界同時不況の影響をもちに受け、2次募集の激減・合同面接会の内定率の低さ等非常に厳しい状況がつづいている。高校生を取り巻く環境は、決して楽観できない状況であり、就職氷河期の再来であった。厚生労働省によると、2009年9月末における高等学校卒業予定者就職内定率は37.6%で、前年同期を13.4ポイント下回った。栃木労働局によると2009年9月末における県内高校生の就職内定率は40.5%で、前年同期に比べ18.9ポイント低く、下落幅は過去10年間で最大であった。本校への求人募集企業数は480社(昨年717社)であった。製造業の求人数が57.8%減少したことが大きく響いている。そのため多くの生徒が就職をあきらめて進学に転じた。

就職指導委員会では、キャリア教育に力を入れ、学年別「進路ガイダンス」「分野別ガイダンス」「就職講話」等を実施し、幅広い知識の吸収と職業意識の向上、職業理解の指導に努めた。3年生は「企業見学会」等へ積極的に

参加させるとともに、就職指導委員会は、県内の就職情報交換会や各種研修会に積極的に参加し、企業訪問等を行い、情報収集と状況分析、独自の求人開拓を行った。その指導と対策が功を奏し、就職希望者全員が就職を果たしたことは喜ばしい限りである。

平成21年度 卒業生進路先

部	進路	卒業生	進路				就職・自営
			4年制大学	延べ合格者	短期大学	専門学校(含む予備校)	
英進部	男	203	161	358	1	35	6
	女	129	100	167	8	17	4
	総数	332	261	525	9	52	10
総合進学部	男	336	160	177	4	97	75
	女	227	70	79	48	63	46
	総数	563	230	256	52	160	121
情報科学部	男	207	53	53	0	74	80
	女	170	15	17	22	65	68
	総数	377	68	70	22	139	148
総計	男	746	374	588	5	206	161
	女	526	185	263	78	145	118
	総数	1,272	559	851	83	351	279





## 第2回 部活動フェスティバル

高校最後の夏が終わり、これまで抑えていたものが外れ、こらえてもこらえても涙があふれてくる。本気でやったからこそ初めて気づく苦しさや難しさ、それを乗り越えてきた者だけにわかる達成感。仲間との絆。その後の彼らの満ち足りた笑顔が逆に涙を誘う。



「作新学院は部活動が盛んだね。」なんて言葉では表せないほどの感動が詰まっている部活動。毎年関東大会、全国大会での優勝・入賞は数知れず素晴らしい実績を上げているにもかかわらず、校内では今一つ盛り上がり欠けていた。中学校での実績のあるもの

だけが活動しているのではないことを内外に知らせることや部員全員で部活動を盛り上げていることを知ってもらいたい。部活動を通してこんなに成長している生徒たちの発表の場にもしたい。このような選手たちと一緒に体験して、もっと作新の良さを知ってもらいたい。そんな熱い思いで部活動フェスティバルの企画が始まった。



将来、その競技で生業を得るプロになれる選手は数少ない。大好きなその競技を通して人間力をアップし、社会に貢献できる大人になれる



ことが部活動の大きな目的のひとつだ。外部からの電話で、「作新学院の名前の入ったバッグを持った生徒に席を譲ってもらった。」「自転車を押してもらった。」「手助けをしてもらった。」など聞き及ぶととても誇らしい気持ちになる。こんな事をさも当たり前のようにやれる生徒がたくさんいることが作新学院のすごいところであり、部活動の成果のひとつだと思う。

体験してくれた中学生が是非作新学院で自分を高めたいと思えるように充実したプログラムで今年も共に頑張っていきたいと思う。

株式会社 寿屋 (設備器機販売施工)  
 ライファ宇都宮東 (INAXリフォーム)  
 代表取締役 齋藤 貞夫 (昭和41年卒)  
 宇都宮市瑞穂1-15-11 ☎028-656-6613

(総合建設業)  
 中村土建株式会社  
 取締役副社長 渡邊 幸雄 (平成4年卒)  
 宇都宮市大曾4-10-19 ☎028-622-6581



# 科学部 [物理班]

書道部・吹奏楽部も全国・関東上位入賞

# 7年連続 全国大会 出場決定

## 文化 部

### 〈科学部・物理班〉

10月末に行われた第60回栃木県児童生徒発明工夫展において、本校科学部が出展した作品3点の審査が行われた。結果、金賞1点、銀賞2点となり、金賞作品の全国大会出場が決定した。今年の大会は応募作品数が252、そのうち金賞が10、銀賞が20、銅賞が30という結果だった。本校は、作品の統一テーマを「ホームエコロジー」とし、3作品とも、日本で初めてとなるアイデアで特許性は認められる。

金賞を受賞した作品は太陽追尾型ソーラーパネル「ひまわり」で、太陽を常に追尾し太陽光線に対して常に直角に受光するソーラーパネルだ。現在のパネルは、屋根などに固定されているため、一日中受光しても最適な角度で受光している時間は僅か数分間でしかないが、自動的に太陽を追尾する機能を持っている。銀賞の2作品のうち一つは、風呂湯発電「お風呂 de 花火」という作品で、お風呂の熱エネルギーを電力に変換し、回収する作品。現在の日本の家庭では、風呂の残湯の大部分が、放棄されている。その熱量は、日本の水力発電量に匹敵するエネルギーとなっている。そこで残湯で発電した電気を夜間、浴室の電気を消すと花火が開いた状態になるよう照明装置を工夫した作品だ。

もう一つの銀賞作品は、漏水検知器「見張り番」は、各家庭に給水されている上水道の約1割が漏水していて、大阪と京都の給水量に匹敵する膨大な水量である事を知り、簡単な装置で精度良く漏水を検知し、警報する装置を製作した。



物理班のみんな

### (有)川口写真館

代表取締役 川口修一 (昭和44年卒)  
宇都宮市北一の沢21-19 ☎028-622-4641

### (株)安藤設計(一級建築士事務所)

<http://www3.ocn.ne.jp/~andoarc/>

代表取締役 安藤英夫 (昭和43年卒)

専務取締役 安藤寛樹 (昭和45年卒)

総務部長 安藤篤史 (平成9年卒)

宇都宮市山本1-3-14 ☎028-625-2875

### (有)朋友塗装工業(建築・塗装・吹付工事)

代表取締役 小野朋之 (昭和61年卒)  
宇都宮市峰3-31-30 TEL 028-634-7082  
FAX 028-639-7220

### 作新学院高等学校 P・T・A

会長 片柳二郎

宇都宮市一の沢1-1-41 ☎028-648-1811



# 国民体育大会・ゆめ半島千葉国体

## 水泳・ボクシング・自転車・バドミントンの各部が、優勝・入賞

### インターハイ・美ら島沖縄総体で好成績

## 運動部

### 第65回国民体育大会ゆめ半島千葉国体結果

#### 〈水泳競技〉

- 英進部 1年 萩野公介……………個人メドレー 1位  
……………100m背泳ぎ 1位
- 総合進学部 3年 清水咲子……………200m平泳ぎ 6位



萩野公介君

#### 〈軟式野球〉

##### 軟式野球 優勝

- 高橋俊樹(総3) 小野周平(英3) 渡邊天平(英3)
- 篠原章人(総3) 斎藤康貴(総3) 木村優也(総3)
- 高野峻弥(総3) 仲田政樹(総3) 羽山 均(情3)
- 大澤 整(情3) 大塚 隼(総2) 高橋諒太(総2)
- 黒澤 駆(総2) 田邊恒輝(総1)

#### 〈自転車競技大会〉

- 総合進学部 3年 坂本将太郎……………スプリント 1位
- 情報科学部 3年 西村宗一郎……………ケイリン 3位
- 坂本将太郎(総3)・西村宗一郎(情3)・田中悠輝(総3)  
……………チームスプリント 2位

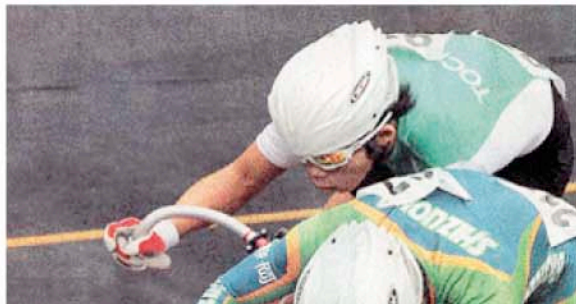
#### 〈ボクシング競技大会〉

- 総合進学部 安納佑樹……………ピン級 優勝

#### インターハイ・美ら島沖縄総体成績

#### 〈自転車競技大会〉

- 総合進学部 3年 坂本将太郎……………スプリント 優勝
- 坂本将太郎(総3)・西村宗一郎(情3)・田中悠輝(総3)  
……………チームスプリント 優勝



坂本将太郎君

#### 〈水泳競技大会〉

- 総合進学部 3年 清水咲子  
……………400m個人メドレー 優勝

#### 〈その他の入賞部活〉

- バドミントン男子……………ダブルス 3位
- バドミントン女子……………ダブルス 3位

#### 全国大会出場

#### 〈ゲートボール部〉

- 全国ジュニアゲートボール大会…ジュニア女子 優勝

#### 〈パワーリフティング部〉

- 英進部 仲野衣美……………全国パワーリフティング大会 優勝

#### 3年連続春高バレー(全日本高校選手権)出場

平成23年1月5日東京体育館で行われる大会に、選手全員の素晴らしい結束力と3年生の牽引力で3年連続して高校生バレーボーラーの夢のステージ春高に出場が決まった。奥山翔太主将は、「部員みんなの力で掴み取った3年連続の優勝。私は3年間同じポジションでやらせてもらったことに感謝し、自分にとっての最後の春高。悔いの残らないバレーをしたい」と抱負を語っている。



奥山翔太 主将

### イマイズミ(宝石・貴金属)

<http://www.imaizumi-j.com/>

代表取締役 今泉 臣夫 (昭和37年卒)

宇都宮市仲町1-13 ☎028-622-3573

### 金田 商会

代表取締役 金田 眞麒(昭和35年卒)

宇都宮市松原1-5-5 ☎028-622-1846

### 仲田総業株式会社

<http://www.nakada.tv>

専務取締役 仲田 陽介 (平成3年卒)

宇都宮市築瀬町2520-4 ☎028-635-2151



### 株式会社 鱒淵建設

代表取締役 鱒淵 孝男

建築部 小牧 英夫(昭和56年卒)

宇都宮市中央3-15-13 ☎028-633-3261

E-mail:masu3261@snow.ucatv.ne.jp/



同窓会  
新任部会長  
あいさつ

## 総務企画部

部会長 小牧 英夫(高33回卒)

昨年は、卒業生の「ホームカミングデー」、学校と同窓会による「おとなの作新祭」が新たな企画として開催されました。長い歴史と伝統を持ち、一校一家の精神により、さまざまな分野で活躍されている先輩、後輩がいることは、わが同窓会の誇りであります。それゆえに、卒業生10万人を超える同窓会発展のため、卒業生が気軽に参加をしていただける企画を立て、信頼関係を築いていきたいと思っております。



## 文化厚生部

部会長 遠藤 盛(高35回卒)

この度、文化厚生部会長に選任されました遠藤盛です。  
文化厚生部としましては「同窓生相互の親睦を深める」ことを目的とし活動しております。バス研修会等の企画を実施し、親睦を更に深めたいと思います。  
また、その結束力を活かして今年初めて実施した“おとなの作新祭”も年々活気あるものにし、学校や先生、在校生達との関係を“一校一家”の精神で、さらに身近なものにしていきたいと思っております。



## 組織財政部

部会長 櫻井 英治(高34回卒)

今後、より多くの顧問の同窓生に対し情報の提供や収集に努めるべく、学年別代表の選出、各部活動先生方、OB・OG会代表者への声掛けを行い、縦の組織交流を深めていきます。また、各学年会、クラス会等を開催し、横の組織交流も深めバランスの取れた組織強化・活性化を図り、同窓生の皆様が、気軽に参加できる組織作りを目指してまいりますので宜しくお願い申し上げます。



## 広報部

部会長 渡邊 幸雄(高44回卒)

今年度より広報部会長に選任されました。どうぞよろしくお願いたします。広報部の主な仕事は毎年1月1日に発刊されます、同窓会会報の企画構成です。作新学院高等学校卒業生と学院をつなぐツールとして、同窓会の活動や学院の諸行事、部活動の活躍、進学・就職の状況など幅広く掲載すると同時に、恩師など懐かしい先生方のメッセージも掲載していきたいと思っております。広報部に対してご意見・ご要望がありましたら、これからの広報活動に取り入れていきたいと思っておりますので宜しくお願申し上げます。



## 青年部

部会長 尾花 一浩(英進1回卒)

青年部として、5月23日(日)に初のボーリング大会(宇都宮第二トーヨーボールにて)を開催し、100名を超えるOB・OGの皆様のご協力により大盛況に終わりました。ボーリング大会の司会は、ラジオ、テレビでお馴染みの、菊地元男さん(OB)こと、DJkeiさん、U字工事の妹分として活躍中のデュオNAiL(ネイル・OG)によるミニコンサートを開催いたしました。

今後は、青年部として、作新の輪を広げられるよう、コツコツと同窓生にお声掛けをし、親会との交流会やバーベキュー、またビジネスマッチングなどを企画し実行して参ります。今後とも何卒よろしくお願致します。

<http://www.sakushin-ogob.gr.jp/>

E-mail:sakushin-dousoukai@sakushin-ogob.gr.jp